



## 低温の影響で生育停滞、茎数が不足！ 茎数確保に向け浅水管理を徹底しましょう！

### 1 「雪若丸」の生育状況（6月10日現在）

管内のほ場では、低温の影響で分けつの発生が進んでいない状況です。多くのほ場で茎数不足となっています。

有効茎確保に向けた重要な時期です。生育促進に向けた管理を徹底しましょう。

生育診断ほ場の状況（高畠町）

	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
本年	22.1	115	5.9	29.5
前年	28.4	161	7.2	42.5
指標	25.0	240	6.4	37.0
指標比・差	88	48	-0.5	-7.5

### 2 今後の技術対策

#### (1) 茎数不足の場合

- 水深2～3cmの浅水管理、昼間止水・夜間かんがいで分けつを促進します。
- 土壌の異常還元（ワキ）がみられる場合は、速やかに田干しや夜間落水を行い、根圏環境の改善を図ります。
- 上記の対策を行ってもなお、6月20日頃までの生育量が不足する場合（茎数300本/m<sup>2</sup>以下、葉色40以下）は、減収となる可能性が高くなるため、窒素成分量1kg/10a程度を補完施用し生育量を確保します。  
※補完施用した場合は、穂肥時の追肥量を減肥します。

#### (2) 順調に生育量を確保している場合

- 有効茎数（560本/m<sup>2</sup>）を確保したほ場から速やかに中干しを行い、作溝も組み合わせて、無効分けつの発生を抑制します。
- 「雪若丸」は幼穂形成期まで葉色を40未満に低下させないように管理することが大切です。水管理や中干しで適正な茎数、葉色となるように生育管理を行いましょう。

茎数と葉色の目安（指標値）

	6月20日	6月30日
m <sup>2</sup> 当たり茎数 (本/m <sup>2</sup> )	460	590
1株当たり茎数 (本/株、70株/坪)	22	30
葉色 (SPAD)	43	43

**農作業事故と熱中症に要注意！** こまめな休憩と水分補給。